

「私の意見・提言」を一部抜粋して紹介します

(町政全般に関するご意見の一部です)

- 生涯学習推進委員として、地域の活動を少しでも盛り上げたい。今年は今までと進め方が違うので皆さんと話し合っていきたいと思います。地域づくりがまちづくりにつながるのでは。(女、60歳代)
- 小学生と昔の遊びを自然の中で行い、良い思い出づくりができれば良い。(男、60歳代)
- 子供や働くお母さんたちのために、お母さん達の意見を聞き、自分出来る事があつたら積極的に参加したいと思います。(女、30歳代)
- 現在、花の会に入会しています。小さな運動でも、明るい町づくりを努めていきたい。(女、70歳代)
- 10数年、山(観光案内、点検作業、遭難防止)に関わる活動を主に、この地域の重要な事と思い関わって来ました。イベントに参加してくださる方、山のさまざまな魅力にひかれこの地を訪れてくださる人達がこの地域を生き残る方向に導いてくれる基となると思う。川根本町の山、自然のファンを増やす為活動したい。(男、50歳代)
- ゴミ資源のリサイクルがいろいろされている中で、生ゴミの堆肥化を協同で推進し、地元農業の活性や花壇作りなどに活かしたい。一人暮らしの高齢者サービスに協力したい。(女、40歳代)
- 私自身、少々の野菜を作っていますが、川根筋の野菜の自給率が30%前後とのこと。川根本町で、この数字が少しでもあがればよいなあ、と思う。従って野菜の直売所があってもよいのでは。(女、50歳代)
- 溪流釣り道場を作ると良い。現在日本の釣人は2千万とも3千万とも言われる。今後は特に溪流釣がスポットをあびるだろう。アマゴは難しいのでマニアが多く、ヒットするだろう。(男、60歳代)
- 時間をかけて町内を廻ってみたい。私達の町はどんな町か少しでも解った上で何か出来るか参加の意図

をさぐってみたい。どこにも負けないよとお茶と園芸は全国に情報発信し自信をつけたい。(女、60歳代)

「わが村は美しく」ドイツで成功した運動です。点在している地区の1カ所、風景のいい通りをつくる。(男、80歳以上)

- まちづくりを考える会などに出席し、意見を出し合う。考える会は幼稚園、学校、地域というように、自分が所属している小さなグループで、いろいろな意見を出し合い、それを町に提出する。(女、40歳代)
- どんな町づくりができるか、話し合い、懇談会がほしい。いろいろな世代の声が聞きたい。(男、50歳代)
- 職員を10年で20%少なくします。島田市との合併は10年後にします。(男、70歳代)
- とりあえず中川根と本川根の交流が先決ではないでしょうか。(女、40歳代)
- 他地域との交流、せっかくあいている田・畑がいっぱいあるので、借農園、体験をしていただく。ホームページ・メール等で、参加、借りてくれた人へ情報を通し、コミュニケーションする。(男、40歳代)
- 観光よりも、住民の生活を重視し、暮らしやすさの充実を計ってほしい。(男、40歳代)
- 川根本町にお茶がなくなれば、町が消えてしまうと思います。人口は中央に向って動いています。夢を持てる仕事の有る町にしたいですね。親に夢があるかないかで子供の方向が決まります。行政の力を持つてお茶の販売力強化を願うものです。町の道路整備が急遽必要です。(重岡、南北道、幹線 (男、50歳代) 林業に携わる人達が事務職の人達より冷遇されては意欲をなくします。若人も助んで働ける環境にしてやって下さい。(女、60歳代)
- 茶業だけでなく、その他の農業にも活路を見出すことも必要ではないかと思えます。そして、自然を整備して公園のような美しい町にしていけたら素晴らしいと思います。(女、50歳代)

● 合併し、旧中川根との交流が深まりうれしく思います。小さい町だからこそ、住民みんなでのこの町を良くい町に作り上げていかなければならないのではと思います。しかし、行政ばかりに頼ってしまい、まあ「勝手にやってー」感覚の自分に腹立ちますが…。もう少し時間がとれたらどんなまちづくりに参加し、色々な人たちと交流もしたいと考えております。川根本町・小さい町ならではの町づくりを期待します。(女、40歳代)

● 役場の職員全部とは言わないが、もう少し町民の事を考えて。自分達は給料制で困る事はないと思いますが、一般の町民の生活を目を見開いたらどうか。職がなくて本当に困って町を出る人が多いようです。もう少し、理解のある職員を育成してもらいたい。(男、80歳以上)

● アンケートは、町民、全員にとってもらいたいです。川根本町を良くするために若者からお年寄りまで、住み良く暮すため、いろいろな年齢層の意見を平等にとってもらいたいです。(女、60歳代)

● 町政については良くわかりません。でも私は川根が好きです。(女、70歳代)

